

第10章 愛知県総合教育センター

第1節 事業方針

1 教育研究調査

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会各課との連携のもとに、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。また、当センターにおける教育研究調査事業の位置づけを明確にして、実態調査・課題把握、研究実践、成果の発信という見通しをもって研究を進める。

2 教育関係職員研修

教育関係職員として自覚を深めるとともに、専門的職能・基礎的資質の向上を図るため、教職員のライフステージ等に応じた研修計画を策定し、研修を実施する。

3 教育相談

教育活動の充実・改善のために、一般教育相談・特別支援教育相談・教育関係職員相談を行う。また、各学校及び地域が行う教育相談活動の向上を図るため、教育相談担当者の支援を行う。

4 教育情報収集・提供

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・処理・提供及び教育情報通信ネットワーク等の管理・運営を行う。また、コンテンツの作成・充実を図りその他図書資料や教材教具の貸出し等を行う。

5 生徒実習

(1) 農業教育(農業教育共同実習所)

県内の高等学校で農業に関する学科及び系列で学ぶ2年生を対象として、農業機械に関する技術・技能の実践力を高めるため、集中的・効率的な生徒実習を行う。

(2) 情報教育(情報教育東海所、情報教育豊橋所)

情報教育東海所では尾張地区、情報教育豊橋所では三河地区の県立高等学校の生徒を対象として、情報活用の実践力を高めるため、集中的・効率的な生徒実習を行う。

第2節 事業概要

1 教育研究調査事業

教育研究調査の事業方針に基づき、重点を次の三点とする。

- 1 学校の教育課題及び教育行政上の今日的な課題を探り、それに応える。
- 2 研究と研修との連携を一層図り、研究成果を研修講座の充実・改善に生かす。
- 3 多様な発信方法を工夫する。(研究発表会、研究紀要(CD、別冊)、ホームページ、研修講座等)

平成 17 年度において行った研究・調査は、次のとおりである。

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程関連	1	授業分析及び授業改善に関する研究（小・中学校）	新しい学力観、指導観に基づく授業分析の在り方と授業改善への生かし方等について調査研究する。	共同研究 協力委員
	2	教科以外の教育活動の在り方と評価に関する研究	各学校が創意工夫を凝らして展開する総合的な学習の時間や特別活動等の在り方と、その評価について学校評価までを視野に入れて総合的に調査研究する。	共同研究 協力校
各教科の専門分野	3-1A	教科指導の充実に関する研究（国語）	A：高等学校における教科指導の現状把握と指導上の課題等について調査研究する。 B：児童生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等について調査研究する。	共同研究 協力委員
	-2A	同（地歴・公民）		
	-2B	同（社会）		
	-3A	同（数学）		
	-4A	同（理科）		
	-4B	同（理科）		
	-5A	同（英語）		
	-6B	同（技・家、家庭）		
	-7B	同（農業・水産）		
	-8B	同（工業・商業）		
-9B	同（情報）			
4	特別支援教育の充実に関する研究	特別な教育的ニーズのある子供たちの教育に関するコンテンツを開発・収集し、その支援の在り方等について研究する。	共同研究 協力委員	
5	理科教育における学習指導力向上に関する研究	小・中・高等学校の理科における指導の在り方及び教員研究の内容等について研究する。	所内研究	
6	「食育」に視点を据えた児童生徒の指導の在り方に関する研究	児童生徒の食生活を見つめ直し、地域の食材や日本の伝統食にも目を向けた、よりよい食の指導の在り方について研究する。	共同研究 協力委員	
学校の課題や実情	7-1	高等学校新入学生徒の学力に関する研究（国語）	全県的な規模における高等学校新入学生徒の学力の実態把握及び教科指導の在り方について研究する。	共同研究 協力委員
	-2	同（数学）		
	-3	同（英語）		
	8	情報教育推進のための調査研究	県内の小・中・高等学校における実態調査に基づく情報教育の在り方について研究する。	共同研究 協力委員
	9	豊かな心の育成を目指す指導の在り方に関する研究	幼児児童生徒の心の教育に視点を据えて、規範意識や思いやりなど、豊かな人間性をはぐくむ教育の在り方について研究する。	共同研究 協力校
	10	e-Learning の推進に関する調査研究	ITを活用した教員研修の動きに適切に対応するため、当センターにおけるe-Learning の効果的な導入や活用方法について調査研究する。	所内研究
	11	指導力向上研修の在り方に関する研究	教員の指導力向上のための効果的な研修プログラム等について研究する。	所内研究
	12	キャリア教育推進に関する調査研究	学校生活から社会生活への移行を視野に入れ、自己と働くこととの関係付けや人生における働くことへの価値付け等について中・高等学校を中心に研究する。	共同研究 協力委員
13	特別支援教育コーディネーター養成に関する研究	特別支援教育コーディネーターの在り方と、その職務内容、技能等について研究する。	共同研究 協力校	
教育相談	14-1	インターネットの教育利用に関する調査研究（参加・交流）	ネットワーク及びインターネットの活用促進について調査研究する。	共同研究 協力委員
	-2	同（校内LAN）		
教育相談	15	心の発達の支援に関する研究 振り返りを重視して	児童生徒の不適応を予防し、自ら未来を開発していく力を身に付けさせるために、参加型体験学習の指導案を開発し、その方法や留意点等について調査研究する。	共同研究 協力委員
	16	特別支援教育相談のネットワーク構築に関する研究	県内の養護学校を中心に関係機関との連携を図り、地域において効果的な特別支援教育相談を推進するための研究	共同研究 協力校

2 教育関係職員研修事業

幼稚園、小・中・高等学校及び盲・聾・養護学校における教育実践上の諸問題を解決するため、次の事項に留意して研修を行った。

(1)教育実践に役立つ研修

(2)参加者が意欲的に取り組むことができる研修

平成17年度に実施した研修は、次のとおりである。

ア 研修区分・対象校種別講座(コース)数

対 研 修 区 分	幼	小	中	高	特	小	中	高	小	幼	中	小	小	幼	幼	小	幼	合
						特	特	特	中	中	高	中	中	高	中	社	計	
基本 研修	新規採用 教員研修	1	1	1	1	1			1							1		7
	教職経験 者研修	1	2	2	2	2										2		11
職務 研修	1		1	1	2			7	4				1			1		18
専門 研修	1		1	3	1	3	2	10	4	1	2	1	4	2	14	13		62
課題 研修	1			1				2		1		1	1		1	2	1	11
長期 研修				5	1			1	2				3			3		15
合計	5	3	5	13	7	3	2	21	10	2	2	2	9	2	15	22	1	124

イ 研修受講者数

(単位：人)

区 分		幼	小	中	高	特	その他	合計
研修人員	教員等	417	2,143	1,408	1,930	806	6	6,710
	学校事務 職員等			362		81		443
	計	417		3,913		2,817	6	7,153
研修延人員	教員等	936	8,873	5,531	6,577	3,909	15	25,841
	学校事務 職員等			921		81		1,002
	計	936		15,325		10,567	15	26,843

1 教員等研修のうち長期研修・派遣研修を除く。

2 「その他」は、社会教育主事。

3 教育相談事業

(1)一般教育相談

ア 対象

児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

身体・精神、不登校、いじめ、非行、学業、進路、家庭教育等

ウ 日時

月～金曜日 午前9時～午後5時

平成 17 年度の相談実施状況は、次のとおりである。

(7) 面接相談

(単位：回)

対象別 内容別	小学生	中学生	高校生	その他	合計
身体・精神	93	6	193	103	395
学業	22	2	1	0	25
不登校	131	149	618	22	920
いじめ	23	29	6	0	58
非行等	3	11	25	2	41
性格等	40	16	26	83	165
進路・適性	1	15	75	65	156
家庭教育	51	1	43	0	95
その他	0	7	8	0	15
合計	364	236	995	275	1,870

(1) 電話相談

(単位：回)

対象別 内容別	小学生	中学生	高校生	その他	合計
身体・精神	23	4	17	14	58
学業	7	16	14	1	38
不登校	45	83	222	8	358
いじめ	27	18	16	1	62
非行等	5	15	16	6	42
性格等	16	19	37	15	87
進路・適性	7	19	54	23	103
家庭教育	21	33	32	16	102
その他	61	61	26	24	172
合計	212	268	434	108	1,022

(2) 特別支援教育相談

保護者及び教育関係職員並びに関係機関からの要請に応じ、障害のある幼児児童生徒等に対する教育相談を実施し、障害児の発達の援助を行っている。

ア 相談の対象

障害のある幼児児童生徒及びその保護者並びに関係教職員等

イ 相談の内容

(7) 家庭におけるしつけや養育について

(1) 幼稚園・学校等における指導について

(ウ) 就学について

平成 17 年度相談実施状況は、次のとおりである。

(単位：回)

対象別 内容別	就学前	小学生	中学生	高校生	小計	保護者	教職員等	合計
家庭養育に関する事	18	154	8	9	189	254	5	448
就学相談に関する事	238	25	1	0	264	352	12	628
訓練・指導法に関する事	12	208	12	2	234	325	65	624
障害の程度に関する事	18	86	11	0	115	179	5	299
その他に関する事	0	12	4	3	19	33	59	111
合計	286	485	36	14	821	1,143	146	2,110

対象幼児児童生徒の障害別内訳

(単位：回)

視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	言語障害	情緒障害	その他	合計
15	3	119	33	0	1	570	60	821

(3)教育関係職員相談

県内の教育関係職員の身上・生活上の様々な問題について、弁護士・専門医・相談員が相談に応じ、その解決のために援助を行い、福祉を増進しようとするものである。土地建物の賃貸借や売買、遺産相続、交通事故の示談や賠償などの法律問題をはじめ、職務上の悩み、家族や生活上の問題、精神健康に関する問題など、平成17年度中に合計320回の相談があった。

4 教育情報収集・提供事業

(1)教育情報処理

教育情報の収集・処理・提供を通じて、教育活動や教育研究の質的向上を図るとともに、教育関係者のコンピュータ利用に対する関心と理解を深めるため、アンケートの集計処理、新体力テストデータ処理、統計分析処理等の処理サービスを行っている。

(2)図書資料

教育関係の専門図書、研究紀要、研究報告書、教科書、教育関係雑誌を収集・整理して、閲覧に供し、図書の貸出しを行っている。

研究紀要、研究報告書等については、コンピュータによる文献検索サービスを行い、教育関係者の利用に供している。

ア 保有数(18.3.31現在)

教育関係図書	研究紀要・研究報告書	教科書	雑誌	新聞
45,960冊	59,120冊	20,973冊	67種	5種

イ 平成17年度利用状況

開館日数	入館者数	利用図書冊数
244日	3,961人	20,042冊

(3)教材教具ライブラリ

幼稚園・小学校・中学校・県立学校をはじめ、社会教育関係機関や団体を対象とする教材・教具を収集・整備して、貸出しを行う。

ア 保有数(18.3.31現在)

種別	数量	種別	数量
16ミリフィルム	1,697本	ビデオテープ	2,184本
D V D	27本		

イ 平成17年度16ミリフィルム利用状況

学校教育	利用数	社会教育	利用数
保育園・幼稚園	29本	P T A ・ 高齢者等	12本
小・中学校	4	子ども会	0
県立学校	10	官公署	1
その他	1	その他	6
合計	44	合計	19

ウ 平成17年度ビデオテープ利用状況

学校教育	利用数	社会教育	利用数
保育園・幼稚園	13本	P T A ・ 高齢者等	6本
小・中学校	75	子ども会	3
県立学校	63	官公署	24
その他	35	その他	20
合計	186	合計	53

(4)ソフトウェアライブラリ(情報教育東海所、情報教育豊橋所分を含む)

各種教育用ソフトウェアを検索・試用することにより、授業等への活用や購入時の参考とするために、ソフトウェアを整備している。

ア 概要(18.3.31現在)

保有数	利用者数	試用数
2,705本	645人	0本

イ 平成17年度利用者数内訳

小学校	中学校	県立学校	その他	合計
182人	200人	263人	0人	645人

(5)愛知県教育情報システム(AIES)

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

ア 主なデータベース

データベースの分野	主な内容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報
視聴覚教育関係情報	教材教具ライブラリが保有している視聴覚教材等の情報
パソコンソフト関係情報	ソフトウェアライブラリ(情報教育東海所、情報教育豊橋所分も含む)所蔵のソフトウェアの情報
国立教育政策研究所関係情報	全国の教育センター等刊行論文、実践的教育研究主題、博士・修士論文題目、全国の教育センター等における教職員研修講座の情報

イ 利用方法

総合教育センターのホームページ(URL: <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>)及び

愛知エースネットのホームページ(URL: <http://www.aichi-c.ed.jp/>)から利用できる。

(6)愛知県教育情報通信ネットワーク(愛知エースネット)

県内の教育関係機関がインターネットへ接続するための拠点となるとともに、接続する学校間で情報交換ができるサービスを提供する。また、愛知エースネットを経由することで、有害情報へのアクセスを制限する。

ア 主なサービス内容

(ア)公開用ホームページと内部用ホームページの開設

(イ)電子メールの利用

(ウ)インターネットニュース及び内部ネットニュースの利用

(エ)愛知県教育情報システム(AIES)データの提供

(オ)コンテンツの提供

イ 利用校等(平成17年度末現在)

校種等	接続数	備考
小学校	54校	A D S L等 9校 ・ I S D N等 45校
中学校	27校	A D S L等 6校 ・ I S D N等 21校
県立学校	181校	A D S L等 173校 ・ I S D N等 8校
その他	5機関	A D S L等 3機関 ・ I S D N等 2機関
合計	267機関	A D S L等 191機関 ・ I S D N等 76機関

5 平成 17 年度普及事業の概要

(1) 研究発表会

第 45 回愛知県総合教育センター研究発表会(平成 17 年 11 月 25 日)

ア 講演

演題「心の教育の基礎基本」

イ 研究発表部会(6 部会)

部会番号	発表題目		会場
1	A	教科以外の教育活動の在り方と評価に関する研究 マネジメントの理念を生かした取組	大講義室
	B		大講義室 (移動) 第 1 講義室
2	高等学校国語科における「読解力」育成の在り方に関する研究 文章の内容を的確に読み取り、読み味わうための評価規準、評価方法の 実践例		第 10 講義室
3	豊かな心の育成を目指す指導の在り方に関する研究		視聴覚教室
4	情報教育の現状と課題 情報教育推進のための調査研究 インターネットの教育利用に関する調査研究(参加・交流)		第 1 情報 実習室
5	心の発達への支援に関する研究		教育工学 演習室
6	特別支援教育相談のネットワーク構築に関する研究 障害のある子供とその保護者のニーズに応じた相談支援を充実するた めの養護学校と小・中学校等、関係機関との連携		講 堂

(2) 主な刊行物

ア C D - R O M による研究刊行物

研究紀要 第 95 集

イ 研究紀要別冊

「平成 17 年度高等学校新入学生徒の学力に関する研究〔国語・数学・英語〕」

ウ 愛知県教育史 第五巻

(3) 要請訪問

県下の教育活動推進のため、研究相談に応じたり、要請により職員を派遣し、指導助言にあ
たる。(上欄は件数、下欄は対象人数)

内容 対象	生徒 指導	教科 指導	進路 指導	家庭 教育	特別支 援教育	教材 制作	教育 相談	道徳 教育	審査 発表	情報 処理	その他	合計
幼 児					13							13
					91							91
児 童 生 徒	1	6							9			16
	40	609							3,332			3,981
教 員		60			77		13				14	164
		1,868			1,303		495				1,319	4,985
P T A												0
一 般 (高 齢 者)												0
一 般 (サ ー ク ル)												0
そ の 他							4					4
							113					113
合 計	1	66			90		17		9		14	197
	40	2,477			1,394		608		3,332		1,319	9,170

6 平成 17 年度生徒実習の概要

(1) 農業教育(農業教育共同実習所)

ア 生徒実習(対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 2 年生)

(ア)参加生徒

()は女子数(内数)

区 分	農園系学科	農土林系学科	生活食科系学科	総合学科	計
参加学級数	15	7	9	2	33
参加生徒数	560 (248)	248 (36)	334 (259)	62 (33)	1,204 (576)
宿泊延べ生徒数	1,665 (736)	716 (106)	662 (513)	123 (65)	3,166 (1,420)
日 程	3泊4日	3泊4日	2泊3日	2泊3日	
学科別 参加学級数内訳	農 業(4) 園 芸(4) 農業園芸(1) 施設園芸(2) 生物工学(2) 動物科学(2)	農業土木(1) 環境デザイン(2) 農業工学(1) 林 業(1) 林産工芸(1) 森林環境(1)	生活科学(5) 生活・経営(1) 食品科学(3)	生物生産系列(1) 環境デザイン系列(1)	

(1) 内容

a エンジン分解組立実習

区 分	実 習 内 容	実 施 学 科 数	
		農園系	農土林系
A	2種類のエンジン分解組立 4 サイクルガソリンエンジン 2 サイクルガソリンエンジン	3	0
B	2種類のエンジン分解組立 男子：ディーゼルエンジン及び4 サイクルガソリンエンジン 女子：4 サイクルガソリンエンジン及び2 サイクルガソリンエンジン	12	7
生活食科系	4 サイクルガソリンエンジンの分解組立	9	
総合学科	4 サイクルガソリン又はディーゼルエンジンの分解組立	2	

b トラクタ応用・施工機械運転実習

学 科	区 分	実 習 内 容	実施学科数
農 園 系	A	どの区分もトラクタ基本運転3 コースと下記の応用運転	2 3 0 9 1
	B	ロータリ耕うん・トレーラーけん引	
	C	ロータリ耕うん・施工機械(ドラグショベル又はホイールローダ)	
	D	ロータリ耕うん・施工機械(ドラグショベル又はフォークリフト)	
	E	トレーラーけん引・施工機械(ドラグショベル又はホイールローダ) トレーラーけん引・施工機械(ドラグショベル又はフォークリフト)	
農 土 林 系	A	トラクタ基本運転1 コース・施工機械3 機種選択(ブルドーザ、ドラグショベル、ホイールローダ、フォークリフト)	7
	B	トラクタ基本運転2 コース・施工機械2 機種選択(ブルドーザ、ドラグショベル、ホイールローダ、フォークリフト)	0
生活食科系		トラクタ基本運転3 コース	9
総合学科		トラクタ基本運転又は施工機械運転	2

イ 資格取得講習(対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 3 年生)

()内女子(内数)

講 習 名	日 程	参 加 人 数
小型車両系建設機械(農園系)	3 日	19(5)
小型車両系建設機械(農土林系)	2 日	14(0)
フォークリフト運転技術講習	3 日(2 回)	16(2)
農業機械技術講習	1 日(2 回)	10(4)
大型特殊自動車運転技能講習	3 日(2 回)	11(2)
計		70(13)

(2)情報教育(情報教育東海所、情報教育豊橋所)

ア 実習内容

主に県立高等学校に在籍する生徒を対象として、コンピュータについての実習を行う。

イ 平成17年度の参加学校数・学級数・生徒数等

(ア)情報教育東海所

学 校 数	22 校
学 級 数	72 学級
生 徒 数	2,463 人
延べ生徒数	3,543 人
コース別参加学級数は()内の数	文書作成 (6) 表計算(VBA) (2) プレゼンテーション (20) インターネット & Web ページ作成 (15) データベース (6) マルチメディアビデオ制作 (16) 3次元CG制作 (1) グラフィックデザイン (6)

(イ)情報教育豊橋所

学 校 数	17 校
学 級 数	108 学級
生 徒 数	2,884 人
延べ生徒数	4,655 人
コース別参加学級数は()内の数	文書作成 (7) 表計算(VBA) (13) プレゼンテーション (24) インターネット & Web ページ作成 (10) データベース (13) マルチメディアビデオ制作 (17) 3次元CG制作 (6) グラフィックデザイン (13) ネットワ-ク (5)